

筑波大学新聞

第364号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699
E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 2 学生のアイデアADと実現 「且座珈琲寄席」落研が熱演
- 5 ハンドボール吉田五輪代表決定
- 8 パートナーシップ制度導入2年
- 10 学内飲食店値上げ迫られ
- 11

特集

- 6・7 工夫重ねる学生たち
- 6・7 コロナ禍の就職活動
- 3 ミニ特集
- 3 特攻隊の故郷
- 3 霞ヶ浦に残る戦争の記憶

教室の定員制限 緩和目指す 授業形態 オンラインも引き続き活用

取材した4学類の授業形態

社会学類	対面授業(ハイブリッド授業を含む)は18科目、オンライン授業は42科目(人文社会エリア支援室 学群教務調べ)
教育学類	対面授業45科目、ハイブリッド授業7科目、オンライン授業は6科目(教育学類長室調べ)
生物学類	17科目の実験と実習は全て対面で実施。実験と実習、一部のチュートリアル授業(専門語学など)を除く対面授業は16科目。一部対面を含むオンライン授業は17科目(生物学類長室、本紙調べ)
情報科学類	対面授業が原則の授業は3科目。オンライン授業が原則の授業は42科目(本紙調べ)

(取材を基に作成。通年・応談・学期をまたぐ科目は除く)

今年度春学期に開講された学群生向けの授業は約半数が対面方式(ハイブリッド授業を含む)となった。「3分の1程度は対面(実施できる)よう準備を進める」教育推進課との目標を上回ったが、教育学類は9割が対面授業(同)となる一方で、社会学類は対面(同)が3割にとどまるなど、その実情は各学類・専門学群で異なる。コロナ終息が見通せない中、筑波大の教育組織は授業の在り方をどのように考えているのか。社会学類、教育学類、生物学類、情報科学類の4学類長と加藤光保副学長(教育担当)に話を聞いた。

(山田優芽 比較文化学類2年)

筑波大は昨年10月、コロナ禍の影響を受けている。対面授業の実施については「感染拡大防止に最大限配慮しつつ、対面での授業を実施できる」との方針を打ち出した。これは現在も変わっていない。

4学類とも対面かオンラインかは担当教員の判断を尊重したが、各学類の対面割合のばらつきは、教室を確保できるかどうかが大変なポイントだ。生物学類では、実験と実習が対面で行われる必要があるため、対面授業の割合は高かった。一方で社会学類は、対面授業の割合が低かった。社会学類は、対面授業の割合が低かった。社会学類は、対面授業の割合が低かった。

習は対面でも実施したが、講義形式の授業では、教室の確保が難しくオンラインとなったものもある。

9割超が原則オンラインとなった情報科学類では、対面が原則の授業でも、オンラインを選択する学生が多いという。

情報科学類長の伊藤誠教授(システム系)は、「コロナ禍では、感染の不安があったり、高齢家族と同居していたり、事情はさまざま。対面授業を強要することはできない」と話した。

授業内容に適した形で、対面での授業は、4学類長の意見は、対面授業とオンライン授業の長所をそれぞれ取り入れながら、今後も併用

は、教員の負担も増す。教育学類長の樋口直宏教授(人間系)は「対面授業の場合は教室での感染防止対策、オンライン授業では、機材の準備や授業動画の編集など仕事が増えた。ハイブリッド授業だと両方に対応しなければならず、教員の負担は大きい」と語る。

一方で、伊藤情報科学類長は、「オンライン授業では、担当教員のパソコン1台で授業や出席確認が完了する。TAの関与できる仕事は減少気味で、教員へ何らかのサポートすべきが見通しづらい」と指摘した。

教育効果の検証を進めるオンライン授業で注目されるのは、その教育効果だ。試験がレポートに代えられた科目も多く、樋口教授は「成績の評価方法が変わっている。教育効果の単純な比較はできない」と話している。

中野生物学類長も「教育効果は長い時間をかけて分かるものであり、現段階でどちらの方がよいと決まってしまうことはできない。学生と一緒にこれからの大学教育について考えていきたい」と話した。

百貨店などの撤退で閉鎖していたつくば駅前の商業施設「CREO」(クレオ)は、5月19日、商業施設とオフィスからなる「tonarie」(トナリエ)として再オープンした。県内初進出となる食品スーパー「トナリエ」(川崎市)や総菜店などが出店し、当日は入店待ちの行列ができた。市内在住の50代女性は「これを機に、つくば駅前が再び活性化してほしい」と話した。

(西村大祐 文学類4年、山田優芽、12面に関連写真)

「tonarie」は、100円ショップ「ダイソー」や「アミューズメント施設、幼児教室など、新たな店舗が出店する予定だ。また、4〜6階はオフィススペースで、既に3社が入居している。

また、クレオの一部を解

職域接種 8月9日以降で調整

学生や教職員ら対象

筑波大は新型コロナウイルスワクチンの職域接種の準備を進めている。対象は学生や教職員などで、開始は8月9日以降になる。大学会館で、1日に800、1000人程度の接種を行う予定だ。

(車谷郁美 社会学類2年)

筑波大は文部科学省との事前調整を経て、6月23日に厚生労働省に職域接種を申請した。全国的なワクチン

供給不足の影響により、ワクチンの到着時期などは未定で、開始時期の詳細は決まっていない。

打手は保健管理センターや筑波大附属病院の医療従事者が務め、会場での受付などは筑波大の職員らが担当する。現在は、同センターとリスク・安全管理課が中心となって運営方法を検討している。

職域接種はワクチン接種の加速を図るため、企業や大学などの職域単位でワクチン接種を行うもの。受け付けが休止された6月25日までに392大学が職域接種の申請をした。

筑波大の永田恭介学長は6月24日の定例記者会見で「ワクチン接種が進み、今まで通りのキャンパスライフが戻ってくることを期待している」と語った。

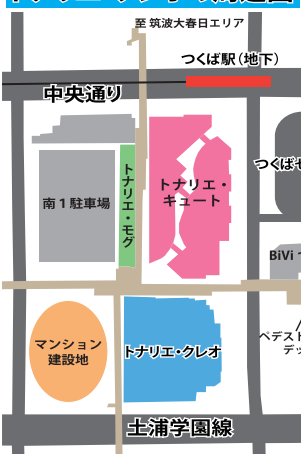


つくば市学園南で寺尾優汰(比較文化学類2年)撮影
茨城県の聖火リレーのアンカーは日本人最多金メダリストの加藤沢男名誉教授。「五輪への恩返し」の気持ちで走った」と話した。(大和祐菜 障害科学類3年)

クレオの再開を進める「tonarie」は、100円ショップ「ダイソー」や「アミューズメント施設、幼児教室など、新たな店舗が出店する予定だ。また、4〜6階はオフィススペースで、既に3社が入居している。

また、クレオの一部を解

トナリエ・クレオの周辺図



同社の伊藤貴俊社長は、「日常生活に欠かせないテナントで構成し、地域の人々が毎日訪れるような施設にしたい。スーパーを核とした回遊性のあるまちづくりを目指す」と語った。

クレオは1985年開業。百貨店の西武や総合スーパーのイオンなどが入居する商業施設で、筑波都市整備(つくば市竹園)が運営していた。だが、2017年に西武が閉店、18年1月にはイオンなどが撤退し、それと同時に閉鎖した。日本エスコが同12月にクレオを取得し、再開を進めてきた。

駅前クレオ再オープン 生活密着型の商業施設へ

四方の空間に張り巡らした何十本の絹糸をこすり、音を繰り出す楽器がストリングラフィだ。糸には紙コップが取り付けられ、その位置と糸の長さ、張力の違いで音階を調節する。糸電話のような音が、その音色は幅広く、力強い。小学1年生の時に、都内で開かれた音楽祭で出会った。音のシャワーを全身に浴びている感覚は、それまで体験したことのないものだった。音楽好きの両親の影響で、ピアノはもちろん、雅楽や民族楽器など国内外の多種多様な楽器に触れ合ってきた。気がついたのは、楽器は生きていくということだ。人の手で生み出された楽器は一つとして同じものはない、自分独自の表現を探し続けたい。

度や気温で音色が変わる。小学生の頃はピアノコンクールでいつも入賞していたが、多様な顔を持つ音楽に魅了され、他の楽器にも興味を膨らませた。その反対に、コンクールで成績を残せなくなった。器用貧乏がコンプレックスだった。そんな悩みを抱える日々にも、楽器は正直に伝えてくれる。ストリングラフィは特に繊細で、細かい力加減や指の使い方が音色を左右し、気分が淀んでいる時に演奏すると悲しそうな音色が返ってくる。自分にとっての一番の理解者かもしれない。今はストリングラフィのプロ奏者として、この楽器を極めようと思っている。ストリングラフィでしかできない、自分独自の表現を探し続けたい。

筑波おし

四方の空間に張り巡らした何十本の絹糸をこすり、音を繰り出す楽器がストリングラフィだ。糸には紙コップが取り付けられ、その位置と糸の長さ、張力の違いで音階を調節する。糸電話のような音が、その音色は幅広く、力強い。小学1年生の時に、都内で開かれた音楽祭で出会った。音のシャワーを全身に浴びている感覚は、それまで体験したことのないものだった。音楽好きの両親の影響で、ピアノはもちろん、雅楽や民族楽器など国内外の多種多様な楽器に触れ合ってきた。気がついたのは、楽器は生きていくということだ。人の手で生み出された楽器は一つとして同じものはない、自分独自の表現を探し続けたい。

PCR検査は毎日実施 スイス選手団約50人受け入れ



東京五輪に出場するスイス選手団の合宿が、7月14日から筑波大で始まった。8月9日までの予定で、柔道3人、陸上競技23人、マウンテンバイク1人の選手計27人とコーチやチームドクターなどを合わせ約50人が参加する。つばきは2019年9月、政府からスイスのホストタウンとして承認され、交流を深めてきた。

スイス選手団は学内の武蔵野体育館で調整を行い、練習後は市内のホテルに宿泊する。筑波大は、接触回避のための立ち入り制限や練習器具の消毒など、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した練習環境の提供に努めている。

スイスの選手団は希望者全員が出国前に2回のワクチン接種を終えている。また、出国前に2度、日本到着時に1度PCR検査を行い、入国後も、毎日PCR検査を受ける。

受け入れに関わる筑波大の教職員や学生ら約20人も7月9日に2度目のワクチン接種を終えた。

選手団に柔道と陸上の選手がいるのに合わせて、筑波大の柔道部と陸上競技部の学生らがサポート役とな

7月13日、スイス選手団専用の駐車場で、選手団にPCR検査を実施した。

7月13日、スイス選手団専用の駐車場で、選手団にPCR検査を実施した。

7月13日、スイス選手団専用の駐車場で、選手団にPCR検査を実施した。

7月13日、スイス選手団専用の駐車場で、選手団にPCR検査を実施した。

五輪壮行会オンラインで開催

陸上の戸邊や飛び込み榎本ら出席



東京五輪・パラリンピックに出場する筑波大関係者の壮行会が7月8日にオンラインで開催された。壮行会の様子も、事前申し込みをした学生や教職員ら限定で、筑波大公式YouTubeサイトで公開された。出場経験のある平岡拓晃助教(体育系)と安藤梢助教(同)。永田恭介学長のあいさつに続き、五十嵐立青・つばき市長が激励のメッセージを寄せた。更に、日尾縣貢教授(体育系)が本選手団の総監督を務める大会関係者への感謝と参加の大いなる決意を述べた。

壮行会の会場となった本部棟の特別会議室には、陸上男子走高跳の戸邊と女子飛び込み・シンクロ板飛び込みの榎本が出席した。戸邊は、「2013年に東京五輪開催が決まった時のうれしさを鮮明に覚えている。大学院在籍中は自身の跳躍に関する研究を7月、それが自分の根幹を作っている。悔いなく全力を尽くしたい」と活躍を誓った。

榎本は「17年前のアテネ五輪を見て、この舞台に立ちたいという夢ができた。かなって

学生のアイデアをADと共に実現

大学スポーツの「やってみよう」を形に

「大学スポーツに関連して、こんなことをしたい」というアイデアを学生から公募し、その実現を図るプログラムを、筑波大アスレチックパートナーメント(AD)が4月から始めた。筑波大生ならば誰でも応募可能で、ADと学生が連携して大学スポーツの発展を目指す狙いがある。

(大野隼太 比較文化学類2年)

プログラムは、学生と共創を創るという意味を込めて、「Future Creation Program」(FCP)と名付けられた。試合のライブ配信やイベント企画、学生アスリートの就職活動支援など、学生スポーツに関するさまざまな分野を問わない。

ただし、実現したいアイデアがある学生は、ADの担当者と打ち合わせを行い、実現に向けて活動する。

これまでに、男子ハンドボール部のフリースタイル演技の演出に関するアイデアなどがFCPに採択された(7月13日現在)。



FCPで実施された東海大との交流戦 = 男子ハンドボール部提供

同部は、7月3日に坂東市総合体育館で開いた東海大とのフリースタイル演技の演出に関するアイデアを受け、FCPで実施した。

同部の朝野翔一(主将)は「運営側としても交流戦に関するアイデアを募集し、費用の効率的な使い方や演出の仕方など、裏方の仕事について考えをきか

学長メッセージ配信始まる

「生の言葉 教職員に」

「永田学長からのビデオメッセージ定期便」の配信が5月から始まった。大学運営などに関する質問について、永田恭介学長が直接回答する様子が教職員専用サイトで公開されている。

全教職員に知ってもらいたい重要な事項を、学長が生の言葉で語る(池田潤・広報担当副学長)とのコメントで、学長補佐室が提案し、月1回の配信が決定した。

「科研費の新規応募件数が採択件数、採択額が減少した」と直撃。永田学長は「一番残念なのは、科研費を獲得しておらず、申請もしていない方が教員の3割近くいた年齢層もあったこと。変えていかないとけない」と回答した。

6月のテーマは「第4期中期目標・中期計画」。永田学長は「第3期より実質的な観点で国際性や学際性を活用するため、チュートリアル教育や学術センター制度などの具体策を盛り込んだ」と動画で訴えた。

広報室によると、初回の動画は約2500回視聴された。今後も月に1回、タイムリーな話題を取り上げる予定で、テーマが学生に「関係する場合は教育情報システム(TWINS)でも公開する」という。

永田学長は「ホットな情報を分かりやすい言葉で説明し、なるべく多くの人と迅速に共有したい。動画を視聴する際には、不明な点があれば部長や事務局に問い合わせしてほしい」とコメントした。

(大和祐菜、写真)



メッセージ動画を撮影する永田学長(左) (6月21日、本部棟で)



OBの指宿弁護士 米務省から表彰 人身売買と闘う「ヒーロー」

米務省は7月1日、日本で外国人労働者問題に取り組む指宿昭一(昭)弁護士を表彰した。米務省は毎年、世界の人身売買に関する報告書を公表しており、その中で人身売買と闘ってきた人物を「ヒーロー」として選定している。

表彰を受けた指宿弁護士は「このような評価をいただいたことは光栄なことだ。今回の表彰は私だけでなく、日本で働く技能実習生を守るために闘っている弁護士や市民団体の皆さんのものでもある」と語った。

(山田優彦)

永田恭介学長 国大協会長再任 23年6月まで

国立大学協会(国大協会)は6月14日、東京都千代田区に開催されたオンライン総会で、現会長の永田恭介・筑波大学長を再任した。任期は2023年6月開催の総会まで。

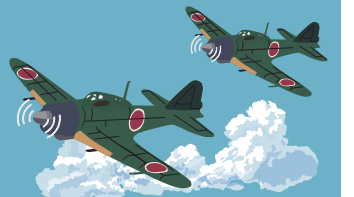
国大協会は、国立大学の振興と日本の高等教育や学術研究の向上・発展のための提言などを行う一般社団法人。永田学長は19年6月、会長に就任していた。

永田学長は総会後の記者会見で、「86の国立大学が使命をしっかりと認識し、個々に、また総体として機能を更に拡張・充実させて、第4期中期目標期間に向けて進んでいく」と話した。

(大和祐菜)

特攻隊の故郷

霞ヶ浦に残る戦争の記憶



大正後期からアジア・太平洋戦争の終戦にかけ、霞ヶ浦周辺には海軍航空隊が数多く置かれた。空に憧れ入隊した若者の中には、戦争末期に特攻隊員となった者もいた。茨城県内各地に残る関連遺跡や、時を知る関係者を訪ね、戦争の記憶の継承について考えた。

(天野隼太、寺尾優汰、山田優芽比較文化学類、4面に記者の声)

「空都」土浦

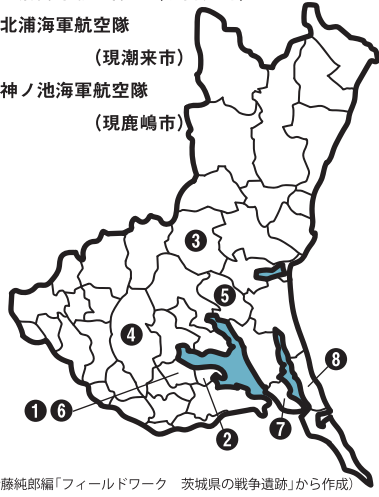
航空隊とともに発展した土浦市は当時、「空都土浦」と呼ばれていた。1922(大正11)年、土浦のお隣の阿見村(現阿見町)に開隊したのが霞ヶ浦海軍航空隊だ。日本で3番目に創設された海軍航空隊で、海軍兵学校出身の飛行学生などの航空術教育を担当した。同航空隊で水上機訓練を行う水上班は38(昭和13)年、安中村(現美浦村)に移り、鹿島海軍航空隊として独立した。水上班の跡地に横須賀海

軍航空隊から移動してきたのが予科練習部だ。40(昭和15)年に土浦海軍航空隊となった。予科練習部は海軍航空隊予科練習部が開始された。予科練習部が開始されたのは1922(大正11)年、土浦市は当時、「空都土浦」と呼ばれていた。1922(大正11)年、土浦のお隣の阿見村(現阿見町)に開隊したのが霞ヶ浦海軍航空隊だ。日本で3番目に創設された海軍航空隊で、海軍兵学校出身の飛行学生などの航空術教育を担当した。同航空隊で水上機訓練を行う水上班は38(昭和13)年、安中村(現美浦村)に移り、鹿島海軍航空隊として独立した。水上班の跡地に横須賀海

軍航空隊から移動してきたのが予科練習部だ。40(昭和15)年に土浦海軍航空隊となった。予科練習部は海軍航空隊予科練習部が開始された。予科練習部が開始されたのは1922(大正11)年、土浦市は当時、「空都土浦」と呼ばれていた。1922(大正11)年、土浦のお隣の阿見村(現阿見町)に開隊したのが霞ヶ浦海軍航空隊だ。日本で3番目に創設された海軍航空隊で、海軍兵学校出身の飛行学生などの航空術教育を担当した。同航空隊で水上機訓練を行う水上班は38(昭和13)年、安中村(現美浦村)に移り、鹿島海軍航空隊として独立した。水上班の跡地に横須賀海

茨城県にあった海軍航空隊

- ①霞ヶ浦海軍航空隊 (現阿見町)
- ②鹿島海軍航空隊 (現美浦村)
- ③筑波海軍航空隊 (現笠間市)
- ④谷田部海軍航空隊 (現つくば市)
- ⑤百里原海軍航空隊 (現小美玉市)
- ⑥土浦海軍航空隊 (現阿見町)
- ⑦北浦海軍航空隊 (現潮来市)
- ⑧神ノ池海軍航空隊 (現鹿嶋市)



(伊藤純一郎「フィールドワーク 茨城県の戦争遺跡」から作成)

空に憧れて

元予科練習生の戸張礼記さん(92)は戦争語り部として活動し、若い世代に「平和は守らなければ続かない。そのためにも戦争は二度と起こしてはいけない」と訴えている。

戸張さんは1928年、君原村(現阿見町)に生まれた。家の近くに霞ヶ浦海軍航空隊や土浦海軍航空隊があり、霞ヶ浦に着水する飛行艇や予科練習生が操縦する練習機を見て育った。成人したら軍人になり、国のために戦うという重責を背負った。予科練習生としての訓練を受ける「航空兵」として空を活躍するようになったという。

予科練習生になったから、早く夢を達成できるかもしれない」と思い、44年6月、15歳で土浦海軍航空隊に入隊。だが、太平洋戦争の戦況悪化で45年3月に予科練習教育は中止され、青森県の別の部隊で訓練中に終戦を迎えた。

終戦後は地元で中学校の教員となった。教員時代は戦争体験を語り、そのことを避けてきたが、「特攻隊員た

地域と航空隊

航空隊の設立は地域に大きな影響を与えた。戦後、航空隊との歴史をどのように伝え、残された戦争遺跡をどのように扱っているのか。航空隊と関わりが深い三つの自治体を取材した。

町の発展と切り離せない

阿見町

2010年、予科練習の本拠地だった阿見町の霞ヶ浦湖畔に開館したのが予科練習平和記念館だ。阿見町と予科練習とのつながりや、予科練習生の訓練過程などが、入隊者や特攻など七つのテーマに分けて紹介されている。昭和を代表する写真家、土門拳が土浦海軍航空隊に泊まり込んで撮影した写真も展示され、予科練習生たちの素顔を今に伝えている。

記念館は、川田弘三町長(当時)が「町の発展を語る上で航空隊の存在は切り離せない。その歴史を伝える努力をしなければいけない」と町民に訴え、町教委の所管施設として開館にこ

ちば自らの命を犠牲にして、国や家族の将来を守りたい」と、退職後に語り部となった。講演回数は、2009年からの12年間で200回を超える。

記憶をつなぐ

同町では、二つの航空隊の間をつないでいた通称「海軍道路」の痕跡が今も残っている。「海軍用地」が家によく遊ばれてきたと刻まれた石柱で、常陽銀行阿見支店(阿見町中郷)に

同町では、二つの航空隊の間をつないでいた通称「海軍道路」の痕跡が今も残っている。「海軍用地」が家によく遊ばれてきたと刻まれた石柱で、常陽銀行阿見支店(阿見町中郷)に



創業当時(1869年)の姿を残す保立食堂(6月27日、土浦市) = 山田優芽撮影

向かい側と衣料品店「総合衣料さとう」(同町青宿)の前にある。

土浦市

土浦市は戦後70年を迎えた2015年、「戦後70年」の歴史と予科練習の戦史を『市民の記憶』収集事業を始め、その一環として戦争に関する聞き取り調査を続けている。同市立博物館

土浦市は戦後70年を迎えた2015年、「戦後70年」の歴史と予科練習の戦史を『市民の記憶』収集事業を始め、その一環として戦争に関する聞き取り調査を続けている。同市立博物館

土浦市は戦後70年を迎えた2015年、「戦後70年」の歴史と予科練習の戦史を『市民の記憶』収集事業を始め、その一環として戦争に関する聞き取り調査を続けている。同市立博物館

野田さんは、「土浦市と戦争の関わりを考える上で、航空隊の存在を欠かすことができない」と話す。1869年創業の「保立食堂」(土浦市中央)はそんな土浦と航空隊の関係を伝える歴史の生き証人だ。航空隊から指定を受け、日曜日に外出を許された予科練習生たちに天井や親子井を安価で提供した。家族との面会も行われたという。奇棟造の屋根や格子木囲

美浦村

鹿島海軍航空隊が置かれた美浦村には、航空隊の旧庁舎や自動車庫、湖岸の滑走路など当時の施設が現存する。戦争遺跡を含む航空隊の敷地の一部が2018年、国から村に払い下げられた。村は住民アンケートなどを行って活用方法を検討。旧庁舎などを選択的に保全し、残りの土地は再開発する方針を決めた。

戦争遺跡の保存には、安全管理などから、維持管理するだけでも相当額の経費が必要となる。村役場企画財政課の菅野真照・同村企画財政課長は、遺跡はただ残すだけでなく、活用することが大切だ。近隣の子供たちが平和学習できるような施設となることを目指したい」と話した。

大切なのは遺跡の活用

鹿島海軍航空隊跡地に残る旧庁舎(6月20日、美浦村) = 寺尾優汰撮影

陸軍の飛行兵を志願した若者が敵しい訓練に励んだ。その多くが戦場へ赴き、戦争末期には航空特攻隊として飛び立っていった。戦争の記憶は、時間の経過とともに忘却と改変を伴う。忘却と改変に抗し、戦争の記憶を正しく継承する資料として、戦争遺跡は重要な役割を担っている。その保存に対する考え方は自治体によって異なるが、地域住民の意向を踏まえて、保存と活用に取り組んでいきたい。

識者に聞く

茨城と特攻隊との関係について、比較文化学類長の伊藤純一郎教授(人社大)に戦争遺跡の保存や戦争の記憶の継承について聞いた。

(聞き手・天野隼太)



伊藤純一郎教授

筑波大周辺の霞ヶ浦・筑波山・北浦には、海軍航空隊や陸軍飛行場が存在し、

足元を見つめ足元から問い直す歴史

伊藤 純一郎(いと う・じゅんいちろう) 1957年、長野県生まれ。主な著書に「特攻隊の故郷」(霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘)(吉川弘文館)、「フィールドワーク 茨城県の戦争遺跡」(平和文化)がある。

伊藤 純一郎(いと う・じゅんいちろう) 1957年、長野県生まれ。主な著書に「特攻隊の故郷」(霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘)(吉川弘文館)、「フィールドワーク 茨城県の戦争遺跡」(平和文化)がある。

筑波大 大学院生 ツアーを企画

筑波大都市計測実験室の大学院生4人が霞ヶ浦周辺の戦争遺跡を自転車で行くツアーを企画し、周辺自治体にも実現を呼びかけている。

霞ヶ浦周辺のサイクリングコース「つばは霞ヶ浦のりんろード」を活用し、若者が戦争について学び、機会を創出することも、周

戦争を考えるきっかけに

辺地域の活性化を図る狙いがある。例えば潮来市を出発地とするツアーでは、水上飛行機の訓練をしていた北浦海軍航空隊跡(潮来市大生)から体験型農業テーマパーク「なめがたファーマーズヴィレッジ」(行方市宇崎)にかけて自転車で行く。その後、霞ヶ浦を船で周遊する「霞ヶ浦サイクル」を活用し、自転車の進路検

辺地域の活性化を図る狙いがある。例えば潮来市を出発地とするツアーでは、水上飛行機の訓練をしていた北浦海軍航空隊跡(潮来市大生)から体験型農業テーマパーク「なめがたファーマーズヴィレッジ」(行方市宇崎)にかけて自転車で行く。その後、霞ヶ浦を船で周遊する「霞ヶ浦サイクル」を活用し、自転車の進路検

記者の 声



天野隼太

【3面に関連記事】ひめゆり平和祈念資料館(沖縄県糸満市)は今年4月、「戦争からさ...」

戦争を伝える 「もの」を通じた記憶の継承

自分がこの世に生きていく... 戦争を伝える 「もの」を通じた記憶の継承...

筑波時評

つくばらしい景観と言われ... 筑波時評 近年のまちづくりの動き...

藤井 さやか 准教授 (都市計画)



システム情報系・准教授。東京大学院工学系研究都市工学専攻単位取得退学。博士(工学)。筑波大講師などを経て、2012年より現職。

波大学をはじめとする試験研究... 近年のまちづくりの動き...

反射鏡

買い物ごとに行く

筑波大周辺では4月にスーパー「カスミ」のテナ... 買い物ごとに行く...

【社会学・女性】 店員の方と仲良くなり、今や常連客になった。...

【双峰祭オンライン開催はどう思う】 コロナ禍で中止となった昨年度の筑波大学学園祭...

【2類1年・女性】 実際はキャンパスを歩い、どのように描いているかが見てまわってこそ、学園分らない。...

【双峰祭】 双峰祭で電子機器が使える人しか楽品展示を行っていた。実際しめないのではない。



イラスト＝大橋翔和(比較文化学類1年)

サザコーヒーで落語会

落研が「ガマの油」など熱演

筑波大落語研究会(落研)のメンバーが出演する第2回「目座珈琲寄席」が6月13日、サザコーヒー筑波大学アリアンサ店(つくば市天久保)で開かれた。「笑顔は万病の薬! コロナ禍で笑って免疫を高めよう」と始まったプロジェクトで、落研のメンバー4人が新作「古典合わせて四つ演」を披露した。後半、油を塗って見せる。後半、油を塗って見せる。後半、油を塗って見せる。



落語を披露した筑波亭茶鉄さん(6月13日、サザコーヒー筑波大学アリアンサ店で)

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

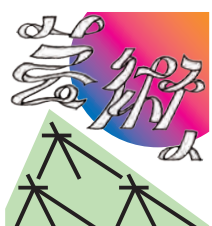
「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。

「アリアンサ店で落語を上演したい」というサザコーヒーの依頼に事業開発推進室が協力し、4月上旬に落研の出演が決まった。5月2日の初回は26人、今回は15人が来店した。同店長の野貴之さんは「筑波大生がもっとサザコーヒーを利用してもらうきっかけになればうれしい」と語った。



筑波大学吹奏楽団

筑波大学吹奏楽団第85回定期演奏会が6月12日、ノバホール(つくば市吾妻)で開かれた。新型コロナウイルスの影響で、同楽団の演奏会開催は一年半ぶり。入場者は400人と定員の半分以下に絞られたが、聴衆からは長時間の熱演に温かな拍手が送られた。演奏会はクラシック

コロナ乗り越え1年半ぶりの演奏会

パートとポップスパートの2部構成。第一部の最後を飾ったのは吹奏楽の定番曲「アルメニア・ダンスPart1」(A. リード作曲)。アルメニア民謡を題材とした5曲が一つの組曲のように連続して演奏される。8分の5拍子のアップテンポなリズムで始まるのが、3曲目の「おーい、僕のナザン」だ。指揮者の関根千夏さん(比文3年)は「正確なリズムを保つため、腕の振りを意識し、全体のリズム感が



リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

リハーサルに臨む吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで)

CFで病院改修

筑波大生がデザイン

筑波メディカルセンター病院(つくば市天久保)は、緩和ケア病棟家族控室を改修するためのクラウドファンディング(CF)を7月10日に始めた。芸術専門学群など筑波大生の学生チーム「パブリカ」が、控室のデザインやCFのリターンを考案した。目標は8月末までに350万円以上を集めることだ。

筑波メディカルセンター病院(つくば市天久保)は、緩和ケア病棟家族控室を改修するためのクラウドファンディング(CF)を7月10日に始めた。芸術専門学群など筑波大生の学生チーム「パブリカ」が、控室のデザインやCFのリターンを考案した。目標は8月末までに350万円以上を集めることだ。

筑波メディカルセンター病院(つくば市天久保)は、緩和ケア病棟家族控室を改修するためのクラウドファンディング(CF)を7月10日に始めた。芸術専門学群など筑波大生の学生チーム「パブリカ」が、控室のデザインやCFのリターンを考案した。目標は8月末までに350万円以上を集めることだ。

筑波メディカルセンター病院(つくば市天久保)は、緩和ケア病棟家族控室を改修するためのクラウドファンディング(CF)を7月10日に始めた。芸術専門学群など筑波大生の学生チーム「パブリカ」が、控室のデザインやCFのリターンを考案した。目標は8月末までに350万円以上を集めることだ。

「絵画の筑波賞」展

東京藝術大と共同で

「絵画の筑波賞」展(主催・筑波銀行、関友商事)が6月5〜20日にスタジオS(つくば市二の宮)で、同23〜29日には西武池袋本店(東京都豊島区)で開催された。同賞と展覧会は昨年、若手作家の創作活動を支援しようと、筑波大と東京藝術大の在学生と卒業・修了生(35歳以下)を対象に創設された。大賞を受賞した城野紗貴さん(平成28年度芸術専攻修了)の「Fence」など26点が展示された。コロナ禍で昨年は、東京での展示がなくなり、つくばでの展示が今回が初めて。



大賞を受賞した「Fence」(6月19日、スタジオSで)

「絵画の筑波賞」展(主催・筑波銀行、関友商事)が6月5〜20日にスタジオS(つくば市二の宮)で、同23〜29日には西武池袋本店(東京都豊島区)で開催された。同賞と展覧会は昨年、若手作家の創作活動を支援しようと、筑波大と東京藝術大の在学生と卒業・修了生(35歳以下)を対象に創設された。大賞を受賞した城野紗貴さん(平成28年度芸術専攻修了)の「Fence」など26点が展示された。コロナ禍で昨年は、東京での展示がなくなり、つくばでの展示が今回が初めて。

「絵画の筑波賞」展(主催・筑波銀行、関友商事)が6月5〜20日にスタジオS(つくば市二の宮)で、同23〜29日には西武池袋本店(東京都豊島区)で開催された。同賞と展覧会は昨年、若手作家の創作活動を支援しようと、筑波大と東京藝術大の在学生と卒業・修了生(35歳以下)を対象に創設された。大賞を受賞した城野紗貴さん(平成28年度芸術専攻修了)の「Fence」など26点が展示された。コロナ禍で昨年は、東京での展示がなくなり、つくばでの展示が今回が初めて。

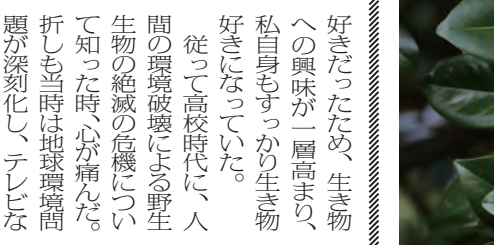
「絵画の筑波賞」展(主催・筑波銀行、関友商事)が6月5〜20日にスタジオS(つくば市二の宮)で、同23〜29日には西武池袋本店(東京都豊島区)で開催された。同賞と展覧会は昨年、若手作家の創作活動を支援しようと、筑波大と東京藝術大の在学生と卒業・修了生(35歳以下)を対象に創設された。大賞を受賞した城野紗貴さん(平成28年度芸術専攻修了)の「Fence」など26点が展示された。コロナ禍で昨年は、東京での展示がなくなり、つくばでの展示が今回が初めて。

「絵画の筑波賞」展(主催・筑波銀行、関友商事)が6月5〜20日にスタジオS(つくば市二の宮)で、同23〜29日には西武池袋本店(東京都豊島区)で開催された。同賞と展覧会は昨年、若手作家の創作活動を支援しようと、筑波大と東京藝術大の在学生と卒業・修了生(35歳以下)を対象に創設された。大賞を受賞した城野紗貴さん(平成28年度芸術専攻修了)の「Fence」など26点が展示された。コロナ禍で昨年は、東京での展示がなくなり、つくばでの展示が今回が初めて。

短歌 筑波大

真っ白な泰山木の花ひらき

夏のはじめに学内でよく見かける白くて大きな花は、泰山木という。芳香があり、マグノリアという香水の原料にもなる。背の高い木だが、学内の泰山木は、ペストリアンデッキの傍らに植えられていることが多く、花は私たちの視線の高さで咲いている。ずっしりと大きな花を見てみると豊かな気持ちになる。肉厚の花びらに触ってみると、歩道橋から手を伸ばすと意外と届かないところにあるものだ。(廣間菜月II比較文化学類3年、写真も)



6月29日、第一エリアで

夏のはじめに学内でよく見かける白くて大きな花は、泰山木という。芳香があり、マグノリアという香水の原料にもなる。背の高い木だが、学内の泰山木は、ペストリアンデッキの傍らに植えられていることが多く、花は私たちの視線の高さで咲いている。ずっしりと大きな花を見てみると豊かな気持ちになる。肉厚の花びらに触ってみると、歩道橋から手を伸ばすと意外と届かないところにあるものだ。(廣間菜月II比較文化学類3年、写真も)

夏のはじめに学内でよく見かける白くて大きな花は、泰山木という。芳香があり、マグノリアという香水の原料にもなる。背の高い木だが、学内の泰山木は、ペストリアンデッキの傍らに植えられていることが多く、花は私たちの視線の高さで咲いている。ずっしりと大きな花を見てみると豊かな気持ちになる。肉厚の花びらに触ってみると、歩道橋から手を伸ばすと意外と届かないところにあるものだ。(廣間菜月II比較文化学類3年、写真も)

原点 GEN-TEN

私が小学生の頃、好きだった事の一つは、家の周りを探検することだった。探検といっても、用水路をたどってみたり、よく行く公園までの近道を探索したりするような小さな探検だった。私の家はどかな田園風景が広がる地域にあり、当時、里地里山の自然が所々に残されていた。そのため探検の道中では、立派な桜の木や、精巧なクモの巣や、道端の可愛らしい草花などを発見し、感動することが多かった。さらに、父が生き物

山本容子 准教授(理科教育)

人間系・准教授。公立高校理科教師の傍ら、筑波大学院人間系総合科学研究科博士後課程修了。博士(教育学)。筑波大助教を経て2020年より現職。

生物学類では動物生態学研究室に所属し、卒業研究では大学構内の林でアリの行動を観察した。しかし、野外でのデータ収集は想定以上に難しく、思うような成果が上からず悩む日々だった。そのような折、研究室の先輩から、環境教育という分野を教えてもらい、これを機に、理科教育として環境教育を行う方向にかじを切ることになった。

面接やインターンシップがオンライン化 コロナ禍で変わる就職活動の現状に迫る



面接やインターンシップのオンライン化など、コロナ禍は学生の就職活動の様相を大きく変えた。来春卒業予定の筑波大生を追うと、戸惑いながらもオンライン化にしたたかに対応した姿が見えてきた。(及川千翔) 文学部、梅津拓人、北川瑠菜、比較文化学類、車谷郁美、社会学類、大和祐菜、障害科学類

オンライン就活 約8割が経験

就職課とダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)によると、昨年4月ごろ、コロナ禍で採用数を大きく減らした航空業の大学生の就職率(4月1日現在)は96%で前年同期2.0%減だった。

筑波大では例年、学類・専門学群の卒業生の約5割が就職希望。2015〜19年度の就職率は94.9%から96.9%へ上昇したが、20年度は95%で前年度比1.9%減となった。

座談会 就活を終えた5人に聞く

筑波大生たちはコロナ禍での就職活動をどのように工夫して乗り越えたのか。本紙は就活を終えた学生を招き、オンライン座談会で就活体験を聞いた。参加者は次の5人だ。▽三宅 温さん(比文4年)▽藪野耕介さん(社学4年)▽吉崎雄登さん(教育4年)▽山本尊仁さん(心理4年)▽原圭司さん(資源P2年)。

オンライン就活の良かったところは何か
三宅 茨城から大阪の企業の選考を受ける際も移動の時間や交通費がかからなかった。インターンシップに参加中に盲腸で入院したが、オンラインだったため、引き続き病院から参加することができた。

吉崎 オンラインの会社説明会や面接ではリクルー

中止された」と答えた。アンケートでは69人(84%)がオンラインでの就活を経験したと回答。企業説明会などに気軽に参加できるようになった。「志望業界以外についても知る機会が増え、就職先の選択肢の幅が広がった」など、オンライン化を好意的に受け止める声も多かった。

「交通費などの経済的負担が減る」「移動にかかる時間的負担が減る」などもオンライン化のメリットとして挙げる一方、デメリットとして「企業の雰囲気を感じにくい」「通信面でトラブルが起る恐れがある」などの意見が出た。

三宅 自宅で面接を受ける時は、背景にアピールしたいものを映り込ませ、面接の話題にした。熱中していたエレクトーンや、課外活動団体で作成した冊子を紹介し、面接官と話が盛り上がった。インターンシップで出会ったアナウンサー志望の学生からの助言で、「やる気のある学生」に見えるよう、顔への照明の当て方やメイクの際の眉毛の書き方にも気をつけた。

山本 オンラインの面接やグループディスカッションでは、リアクションが伝わりづらい。普段より大きめにリアクションを取るようにした。

オンライン就活で苦労したのはどんなところか
原 理系の大学院生なので、実験などで毎日研究室に行かなければならない。学内には、インターネット環境を利用して面接や説明

病室からインターンシップに参加

リクルートスーツ買わず 衣服費節約できた

志望業界	オンラインで体験した選考
三宅 マスコミ	面接、インターンシップ、説明会、OB・OG訪問
藪野 IT	面接、インターンシップ、説明会、OB・OG訪問
吉崎 コンサルなど	面接、インターンシップ、説明会、OB・OG訪問
山本 マスコミ	面接
原 総合商社など	面接、インターンシップ、説明会、OB・OG訪問

会などを受けられる場所が少なく苦労した。図書館などに面接などを受けられる場所があればよいと感じた。

吉崎 面接やグループディスカッションでは、他のメリットは大きい。企業でもリモートワークが浸透しつつある。入社した後、必要なスキルなので、今のスタンダードになればよいと思う。

藪野 家で面接を受けるチャット機能を使って自分



座談会の参加者(上段左と中央は本紙記者) 7月5日、つくば市天久保で撮影 = 大和祐菜撮影

ため、机や椅子を新たに購入した。インターンシップもオンラインだったので、他の学生と関係が深めることが難しかった。仲良く

今後の就活はどうあるべきかと思うか
原 筑波大のような地方学生にとって、現地に出席を終わってしまった。

OB・OG訪問などで積極的に情報を集めてほしい。

就活支援

面接やアプリ作成で

コロナ禍での就活支援はどう変わったのか。就活生の悩みに寄り添う筑波大就職課や学生のキャリア支援NPOなどを取材した。

就職課

就職課とDACセンターは例年、年度始めの4月に、学群3年生と修士1年生を主な対象とした就活やインターンシップに関するガイダンスを開催してきた。その他、エントリーシート(E S)や面接などの実践対策、業界研究会、年度末の3月に合同企業説明会など一連の支援を対面でも実施してきた。だが、昨年度からは全てがオンラインでの開催になった。



キャリア相談に乗る就職課の職員 = 就職課提供

ていち早くオンライン化して、情報提供がより重要だとして「新型コロナ危機を乗り切るキャリア支援セミナー」を計4回開催した。就職コンサルタントなどを招き、新型コロナによる新卒採用市場や経済への影響を紹介した。

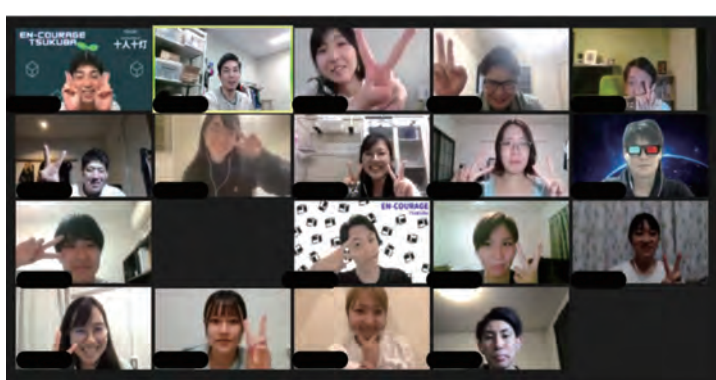
同課の担当者は「新型コロナの影響で昨年度から急激な変化を求められたが、学生への支援を止めないことを最重要課題として取り組んできた。今年度は昨年度の経験を生かして支援をより充実させたい。コロナ禍でも就職活動の本質は変わらない。学生には、就活がうまくいかなくても焦らず、ぜひ就職課を頼ってもらいたい」と話した。

その一つが「グループディスカッション対策講座」だ。6月と7月に計3回、オンラインで開催した。講座には、毎回約20人が参加し、複数のグループに分かれて議論の練習をした。運営メンバーは自身の経験を踏まえ、「発言のタイミングが重ならないよう、人の話が終わるのを待つ」「逆光になって顔が暗く映らないよう、カメラの位置に気をつける」などオンラインでの注意点を助言した。

エンカレッジ 筑波大支部

全国の大学に113支部を持ち、就活学生を支援するNPO法人「エンカレッジ」だ。筑波大支部は2016年の創設で、現在は学生31人が、主に学群3年生と大学院1年生の計770人を支援している。

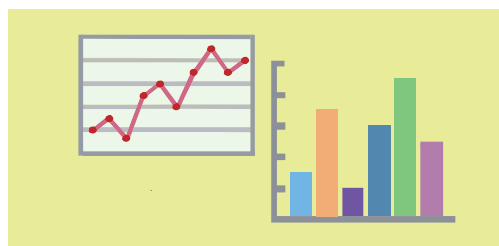
エンカレッジの就活支援の軸は「キャリア面談」だ。企業から内定を得て就活を終えた学生が、就活中の学生と1対1で相談に乗る。現在はオンラインでの実施だが、相談の内容は業界の分析からエントリーシートの添削まで幅広い。筑波大支部代表の坂内一



オンラインで会議をする運営メンバー = エンカレッジ筑波大支部提供

真さん(サ工P2年)は約30人の学生を担当し、多いときは週に4日面談をしながら相談に乗る。担当学生からの相談依頼がない時も、「インターンシップは自身の経験やスキルを踏まえ、発言のタイミングが重ならないよう、人の話が終わるのを待つ」「逆光になって顔が暗く映らないよう、カメラの位置に気をつける」などオンラインでの注意点を助言した。

坂内さんは「エンカレッジは、就活の必勝法を教えるのではなく、それぞれの学生が納得できるキャリアを選択することを重要視している。だから面談では、いろいろな業界を検討した上で志望を決めることをすすめている」と話した。



「マイナビ」に聞く 新卒採用の行方は

就職情報会社「マイナビ」が開設し、雇用や労働に関する調査データなどを発信している「マイナビキャリアリサーチラボ」の東郷(すえ)主任研究員と沖本麻佑・研究員に就活の現状や今後の行方について聞いた。(聞き手・梅津拓人)

——就活のオンライン化 デメリットは何か
東郷 オンラインで選考による企業側のメリット、

を行うことで、会場の確保が難しい。企業側は、オンラインでも時々雑談を挟み、身振り手振りで伝えたりの工夫が必要だ。——コロナ禍で新卒採用に参加しやすい。これにより、企業はより多くの人材から選考できるようになった。一方で、オンラインでは大幅に減った企業は少な

い。新卒で採用した人材が研修を経て戦力となるには数年かかる。新卒は最初から育成目的の人材であるため、新卒採用自体が見送られることは少ない。——オンライン就活の行方をどう予測するか
東郷 場所や時間に縛られず、多くの学生に応募してもらうため、オンラインでの選考は今後も維持されるだろう。その上で、企業と学生がお互いの印象を把握できるよう最終面接は対面にするなど、オンラインと対面を併用する形が主流になると考えられる。

コロナ禍での対応伝えて



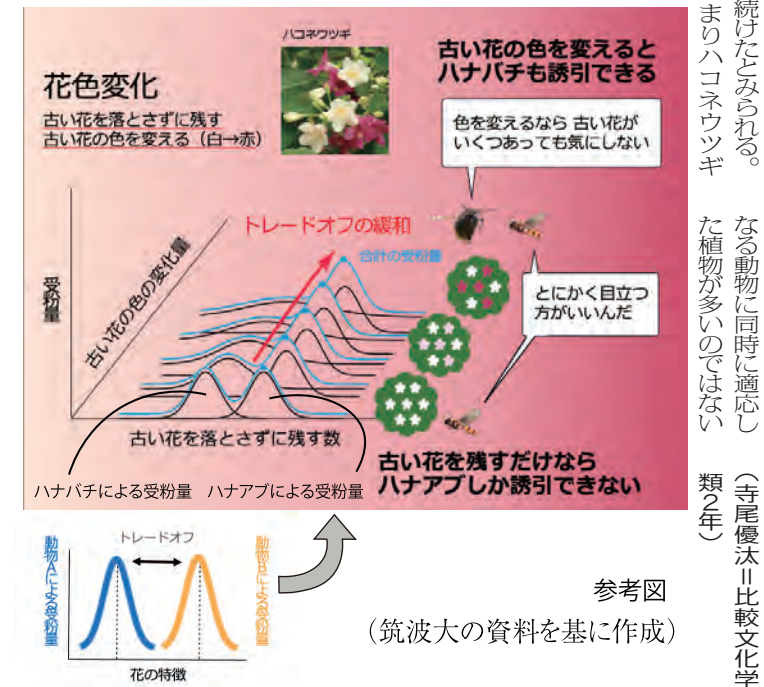
大橋一晴講師

花の進化の定説覆す 多様な動物が花粉を媒介

色や形、香りなどが持つ特徴の組み合わせは、ある決まったグループの動物に受粉を任せるように進化した。これは「専門化」と呼ばれる考え方で、生態学の定説だった。この定説を覆す新仮説を国際科学雑誌で発表したが、大橋一晴講師(生環系)らの国際研究チームだ。「多くの花は複数の動物に適應し、受粉効率を同時に高めるよう進化した」というのだ。

「専門化」を巡っては、実際の花がさまざまな動物に訪問されているという観察結果に矛盾するとの批判があり、四半世紀にわたる論争が続いていた。新仮説がこの論争に終止符を打てるか注目される。

トレードオフを緩和する花の進化の例



訪れ続けたとみられる。つまりハコネウツギは、古い花の色を変えてハナハチも誘引できる。色を変えるなら古い花がいくつあっても気にしない。とにかく自立の方がいいんだ。古くはハコネウツギは、古い花を残すだけならハナハチしか誘引できない。ハナハチによる受粉量、ハナアブによる受粉量。トレードオフ。花の特徴。

手紙

「医学部を出た学生のほとんどは医者になれませんが、芸術専門学群を出てもアーティストになれるのは限りません。ほんの一握り……いや一握りもないかもしれない。将来の夢と希望に満ち溢れた芸術専門学群1年生の最初の授業でこの言葉をかまされたのです。それも学群長から。『それじゃ大学教育の敗北ではないか』とお怒りの方もあります。私が、今にして思えば、総合大学の中の芸術の学群の長としての立派な統計学に裏打ちされた言葉でありました。私、芸専を出て現在何を渡世とするかと申しますと、着物着て座布団の上で右左向いてしゃべります……申し遅れました

自己分析アプリ「とーてん」

中山碩人さん(医学6年)が筑波大生4人が開発した自己分析アプリ「とーてん」だ。機能の一つとして就活の面接で聞かれやすい「学生時代に力を入れたこと(ガクチカ)」の作成をサポートしている。昨年8月にリリースされ、インストール数は7月12日時点で約5600に上る。ガクチカの作成では、過去の体験で考えたことや工夫したことを自己分析研究会に入会。芸専で学んでいたのは現代美術。立体造形・映像・空間演出・パフォーマンスなど20世紀以後登場してきた表現手段を組み合わせ新たな表現を生み出すことを主眼とした総合造形コースを専攻していました。学群で4

実を結ぶ日まで必死にもがいて

2年。大師匠立川談志をメインとした伝説の深夜番組「落語のピン」を修行で泊まったホテルで偶然見つけたのが、きっかけで落語にハマり、入学式当日に落語研

年、修上で1年留年して3年、都合7年、現代美術と落語の間で終始揺れ動いていました。片や視覚化した造形物を造る芸術的な表現と、片や扇子と手ぬぐいと言葉だけで

観客にイメージを伝える落語的な表現が、重なり合っただけでなく、在学中にはありませんでした。芸術は芸術、落語は落語、それらは別のもの。そのモヤモヤを抱えたまま学生生活を終えることになりました。

立川志のぼんさん

落語家立川志のぼんさん。師匠はNHK「ガッテン」の司会でおなじみの立川志の輔。大師匠は落語界の鬼才立川談志。芸専を出てなせ落語家になったのかをちょっとかいつまんでお話ししますと……。落語との出会いは高校

落語家 立川志のぼんさん

圧力的な表現に出くわすと人生ねじ曲げられるもので。当時年末に行われていた渋谷のバルコ劇場公演で大きな衝撃を受けました。ただ落語をするだけではない、目も耳

この結果から、自分の強みやその生かし方、工夫したことを導き、ガクチカを書いていくという。

中山さんは「とーてん」は、自分の体験を文章化しながら自己分析することで、具体的なガクチカを作成できる。自己分析を重ねると自分の原動力となっている経験や感情に気づく。それが自分の適性に合った納得のいく企業選びにつながる」と語る。

今後は、志望理由の作成を支援する機能も追加する予定で、就活生へのサポートを更に強化するという。

この結果から、自分の強みやその生かし方、工夫したことを導き、ガクチカを書いていくという。中山さんは「とーてん」は、自分の体験を文章化しながら自己分析することで、具体的なガクチカを作成できる。自己分析を重ねると自分の原動力となっている経験や感情に気づく。それが自分の適性に合った納得のいく企業選びにつながる」と語る。今後は、志望理由の作成を支援する機能も追加する予定で、就活生へのサポートを更に強化するという。

吉田 東京五輪代表決定

「メダル獲得し競技知ってもらいたい」

ハンドボール



五輪代表に選出された吉田は、本提供
ハンドボール部リーグ「タルヌフ」に所属。2020年1月のアジア選手権では最年少で初の代表入りした。21年3月にエジプトで開かれた世界選手権では大会を通じて10得点を挙げ

東京五輪のハンドボール日本代表に吉田守一(体専)が選出された。6月27日に日本ハンドボール協会が発表した。吉田は「選ばれる時は素直にうれしかった。メダル獲得し競技知ってもらいたい」と話した。

吉田は「メンバーが主体的に声を出し、シュートを決める泥臭いプレーを見て、本チームの雰囲気はとても良い。自国開催は結果を出すには最高の舞台なので、メダル獲得を果し、ハンドボールをもっと知ってもらいたい」と話した。

筑波大の卒業生では、徳田新之介(平成29年度体育専門学群卒)、坂井幹(同)も代表入りした。(大和祐菜)

女子初の日本一

全国大学選抜

弓道



初の日本一に輝いた筑波大の高田 = 弓道部提供

宮武道場(東京都渋谷区)で行われ、筑波大女子が初優勝した。男子は2回戦で慶應義塾大に敗れた。

男女とも5月の予選を勝ち抜き、それぞれ16チームがトーナメントで争う決勝に進出した。

女子決勝はチーム3人がそれぞれ4射ずつ引を引き、合計的中数を競った。初戦では東日本国際大と対戦。瀬野麗奈(体専4年)が全ての矢を的に当て、10中対3中で快勝した。

2回戦は城西大との対戦となった。両者10中で並んだため、両チームの3選手が1射ずつ引を引き、的中

の練習を重ねてきたので、最後の勝負がしななかった」と振り返った。

高田は「練習通りの力を発揮できた。瀬野選手は高校時代の先輩で、一緒に日点を語った。

6月13日の中央大戦ではフォワードが作ったスペースを生かしてバックスが展開するシンプルな攻めを意識し、52-17で勝利した。

試合経験の浅い選手の活躍も目立った。前半21分、左サイドのラインアウトからモールドで押しゴールを挙げた。右サイドのラインアウトからモールドで押しゴールを挙げた。右サイドのラインアウトからモールドで押しゴールを挙げた。

2年ぶりの女子総合優勝は逃す

高良 3連覇果たす



6尺26を跳び、3連覇を果たした高良 = 陸上競技部提供

陸上

関東学生対校選手権(関東インカレ)が5月20〜23日、相模原ギオンスタジアム(相模原市)で開かれた。筑波大は女子走幅跳の高良彩花(体専3年)が3連覇を果たした。男子100mで鶴澤飛羽(同1年)が準優勝するなど男女計27種目で36人が入賞した。昨年とは異なり、女子が総合2位、男子が同8位となった。女子は2018、19年と2連覇していた。(大和祐菜)

「ウォーミングアップから地面から反発を受け取れている感覚があった」と、調子の良さを感じていたと、高良は話した。しかし、降雨で記録を狙うには悪い条件となり、5本目までは6尺16の記録にとどまった。「雨で体が冷え、助走がうまくいかなかった」と振り返る。

だが、「良い記録を出して優勝したい」と気持ちを引き上げた。しかし、山崎りさ(日本体育大)に食らいつかれ、首位争いは2人の一騎討ちとなった。残り150m付近で山崎に抜かれ、そのままレースは終了。4分25秒09で2位となった。「負けは悔しいが、力を出し切った。自分も集団で仕掛けたのは収穫だった」と評価した。

女子は、このほかにも塩崎泉(同3年)が棒高跳で大会記録タイの4尺00で準優勝するなど、18人が入賞した。

男子では鶴澤が100mで10秒07(追い風5.5%)の2位に、棒高跳は古澤一(同1年)が5尺20で3位に入り、1年生の活躍が目立った。また、松田基(同3年)が三段跳で15尺73を記録し2位となるなど18人が入賞した。

前期最終節で逆転勝利

サッカー

1年生も自信つけ

15、16分と相手を立て続けにコーナーキックのチャンスを得たが、守り切った。25分にはディフェンダーの山原怜音(体専4年)が相手のペナルティーエリアに侵入するなど、筑波大も積極的に攻撃をしかけた。

だが、38分に右サイドからシュートを打たれた。キーパーの櫻庭立樹(同4

年)が止めたが、こぼれ球を押し込まれて失点し、0-1で前半を終えた。

後半は相手陣でプレーする時間帯が多く、筑波大の攻撃が続いた。67分、ミッドフィルダー加藤匠人(同4年)のコーナーキックにディフェンダーの沖田空(同1年)がヘディングで合わせシュート。同点ゴールを決めた。沖田は点を取ることでチームに貢献したかった。やっと取れた

とほっとしたと話した。続いて79分には、山原がシュートしたボールにフォワードの和田育(同3年)が足を当ててゴールを奪った。逆転ゴールした。後半から出場した和田は「いつも出場機会が来ても自分の力を出せていない。逆転できてよかった」と語った。

次戦は第10回関東大学サッカートーナメント大会



クロスボールを入れる沖田(左) = 筑波大学蹴球部提供

次戦は第10回関東大学サッカートーナメント大会

次戦は第10回関東大学サッカートーナメント大会

次戦は第10回関東大学サッカートーナメント大会

次戦は第10回関東大学サッカートーナメント大会

関東大学春季リーグ 4勝1敗でリーグ制覇

関東大学春季リーグ戦が6月6日と13日に行われた。筑波大女子は4勝1敗で優勝した。参加チームに新型コロナウイルス感染者が発生した影響で、同リーグは中断されていた。染谷菜々美(体専2年)が女子1部の最優秀選手に選ばれた。
(工藤和哉II生物資源学類2年)

バドミントン

筑波大は最終戦となった6月13日の第5戦で法政大と対戦し、5-0で勝利した。第1シングルスには佐川智香(同3年)が出場。第



最優秀選手に選ばれた染谷=バドミントン部提供

2ゲームも序盤は相手にリードを許す苦しい展開となったが、スマッシュなどで終盤に連続7得点を決め、21-19で振り切った。第2シングルスも栗原あかり(同2年)が勝利を収めると、続く第1ダブルスでは溝口なつめ(同3年)・染谷ペアが出場。序盤からスマッシュなどで果敢に攻め、21-12で第1ゲームを奪った。第2ゲームは序盤にリードを許すも、溝口のスマッシュなどで追いつくと、一進一退の攻防の末、26-24で逃げ切った。大石悠生(同3年)・長廻真知(同1年)ペアで挑んだ第2ダブルスも2-0で勝利し、迎えた第3シングルスには再び染谷が登場。前後に揺さぶる攻撃で相手のミス誘いを、21-16で第1ゲームを取った。第2ゲームではスマッシュがさえ、21-10で快勝した。筑波大女子は6月6日の明治大戦では敗れたものの、4勝1敗で春季リーグを制覇した。最優秀選手賞を受賞した。

染谷は最優秀選手

染谷は「選ばれるとは思っていなかったのが驚いたが、うれしい。団体で優勝できたこともうれしいが、インカレ優勝のための通過点。最高の状態でインカレに臨めるよう、普段の練習に励みたい」と話した。主将の大石は「明治大戦は準備不足で負けたので、法政大戦では対戦相手やチームのプレーをビデオ分析した。プレーの傾向などを確認し、万全な状態で戦えたことが勝因だと分析した。」

笠が初出場で優勝

関東女子学生選手権

の開催となった。

剣道

武道館(東京都足立区)で開催され、初出場の笠日向子(体専1年)が優勝を果した。また、同19日に東京武道館で開催された関東学生選手権では、近本太郎(同4年)が3位に入賞した。昨年の両大会は、新型コロナウイルスの影響で中止されており、2年ぶりとなる場面もあったが、決勝では柿元芽月(法政大)と対戦した。打ち合いが続き、2分足らずで勝利は決し、近本は3位となった。(西村大祐)

近本巻き返せず3位

定打に負け、勝負の行方は延長戦に持ち込まれた。延長戦で、笠がツキを繰り出した流れで、近本は巻き返すことが出来ず、3位となった。

田形2連覇達成

「ほっとしている」

テニス

関東学生テニス選手権大会が5月24日と6月9日に大宮けんほグラウンド(さいたま市)などで開かれた。田形颯平(体専4年)が男子シングルスで2



2連覇を達成した田形=関東学生テニス部提供

連覇を果たし、全日本学生テニス選手権大会(インカレ)出場権を得た。田形は6月5日の準々決勝で筑波大の石樽元晴(同3年)を破り、7日の準決勝では渡部将伍(早稲田大)を2セット連取で下した。

8日の決勝では、昨年の同大会ベスト4で第2シードの丹下将太(早稲田大)と接戦を繰り広げた。第1セット前半は互いにサーブゲームをキープし合う展開に、だが鋭いサーブと緩急をつけたリターン

でポイントを重ね、6-1で先取した。続く第2セットも、田形は「自分自身にかなりプレッシャーをかけて臨んだ。うれいというよりはほっとしている。就職活動中の大会となり、練習時間があまり取れなかったが、パフォーマンスを落とさずにプレーできた。インカレでのタイトル獲得を目指したい」と今後を見据えた。(山田優芽)

スポーツの顔

水泳競技

「目標は水泳で2024年のパリパラリンピックに出場すること」



ジャパンパラ400m自由形優勝

浦田 愛美 (体専1年)

と定められていたが、限られた時間の中で、頭を使い、目的意識を持って練習する姿勢が身についた。顧問の筑波大体育専門学群出身の余川巧教諭は、自分の片脚をチューブで縛ってパラ選手のフランスのどの方を研究するなど、試行錯誤しながら指導してくれた。持ち味である軸がぶれない安定した泳ぎは、こうした指導の賜物だ。背泳ぎと自由形が得意だが、この2種目には腕の動きに合わせて体を左右に傾ける「ローリング」という動作がある。体を傾ける角度を左右で変えることで、左足の欠損による体重とパワーの左右差をカバーできるようになったという。憧れは、自身と同じ片足欠損の障害を持ち、リオパラリンピックでは100m背泳ぎ(S9クラス)で金メダルを獲得したエリ・コール選手(オーストラリア)。「泳

と感動した。その後、小学校の水泳の授業についていこうと水泳を始め、う思いがあったという。練習はきつかったが「泳ぎ切ると達成感がた。クラブ活動は学校の方針で週4回、1日2時間

「目標はパリパラリンピック」

転機は5月のジャパパラ400m自由形決勝で訪れた。以前は前半を速く泳ぎリードを守り、後半に重点を置く現在の練習方法に基づき、前半は体力を温存し、後半にスパートをかける戦術をとった。その結果、自己ベストには及ばないものの予選より6秒速い、5分28秒88で泳いだ。同大会は8月に開幕する東京パラリンピックの代表選考会も兼ねており、残念ながら派遣標準記録には及ばなかった。筑波大に進学したのは「授業で学んだことを競技で実践し、理論的に強くなれる」と考えたからだ。パラ水泳選手を輩出し、障害者スポーツに理解があることも大きな魅力だった。パリパラリンピックまであと3年。筑波大での生活が、彼女をさらに強くしているはずだ。(及川千翔II人文学類2年、写真は本人提供)

茨城県パートナーシップ制度導入2年

民間にも拡大「他県のロールモデルに」

性的少数者のカップルを茨城県が公的に認める「パートナーシップ宣誓制度」が7月1日で導入から2年を迎えた。宣誓件数は56組(12日現在)に上る。この間、県内の市町村や主要な医療機関、民間企業などでも制度に対する理解が広がった。県レベルでの制度導入は初めてだったこともあり、他の都道府県にも影響を与えた。一方、適用範囲が限られるなどの課題も残る。

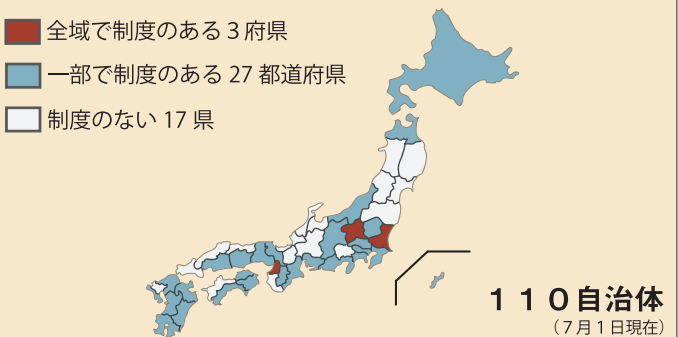
性の多様性



SOGI/LGBT+

民間パートナーシップに関するデータ収集などを行う「同性パートナーシップ・ネット」によると、パートナーシップ制度を導入した自治体は全国110(1日現在)に上る。自治体によって制度の詳細は異なるが、茨城県の場合は、県が発行した宣誓の受領証などを見せると、県営住宅入居や県立病院での手術同意などの際に家族や夫と同様に扱うことを決めた。

全国のパートナーシップ制度導入状況



	開始時期	特徴
茨城	19年7月	民間企業とも連携
大阪	20年1月	カップルの片方のみが府内在住で宣誓可能
群馬	20年12月	希望者に、新婚カップル向けの特典が受けられる「結婚応援パスポート」を交付
三重	21年9月開始	希望者は、パートナーシップ関係に合意した公正証書の受領証を県から受け取れる

※佐賀県 知事が「21年8月めどに導入目指す」と6月県議会で表明 (取材を基に作成)

他都道府県の先行事例に倣って、転入のきっかけになったりと、取材を通じて茨城県の宣誓制度導入の意義を感した。自治体の取り組みであるが故の限界もある。制度がある地域から別の地域に引越すと、同様の制度を持つ地域であったとしても、いったん、効果が失われてしまうことだ。

こうした欠点を乗り越えようと、神奈川県内の鎌倉市・逗子市・横須賀市は昨年4月「パートナーシップ宣誓制度の相互利用に関する協定書」を締結し、現在は葉山町・三浦市も加わった。これら4市1町間での引越しの場合は宣誓し直す必要が無い。岡山市・広島市なども同様の制度を導入した。都道府県規模の制度導入が進み、相互利用が実現することを期待する。

今年も七夕が終わった。例年この時期になると街角にはさまざまな願いごとが書かれた短冊が飾られ、道ゆく人の気持ちを和ませてくれるその七夕といえは、織姫と彦星が1年に1度会うことが許される天の川である。筑波大では、第二エリアと第三エリアの間を流れる小川の意味として使われる。第二エリアで行われる文系学類や人間学群などの授業には多くの女子学生

なく職員にも広まりつつあるようだ。学生生活課が運営する「学生生活関係HP」に、学生の要望に回答する形で「天の川」が登場する。これによると、「天の川」は降水時の排水に利用されるもので、豪雨になると冠水する可能性があるという。補修工事の名称に「天の川」が使われたこともあるという。「天の川」を使う職員もいるようなので、広く知られた語ということと間違いない。

課題は福利厚生

導入拡大が進む宣誓制度だが、2019年7月に同性パートナーと宣誓した滑川友理・水戸市議は「福利厚生制度の民間企業への適応拡大が課題だ」という。県は、県庁職員の結婚祝金や引継ぎ休暇などの制度を宣誓者にも適用させている。水戸市は今年4月、市役所職員の出産見舞金や結婚祝金の支給対象を、宣誓者にも適応させた。

程度あるのかを調べた。その結果、マイナンバーカード申請時の一部書類や成人の集い案内状など約30種類の性別欄が削除され、選択肢を追加した書類は約50種類あったと分かった。また市は18年から年に1度、性の多様性に関するテーマで市民向けセミナーを開いている。

大タイパシティ・アクセスシティ・キャリアアセントの河野稔之助教(人間系)は「県内の大学同士が連携する機会は今まで少なかった。連絡協議会の活動内容が明確になり次第、対応を検討する」と話した。

それにしても、「天の川」が冠水するかもしれないというのは、少し驚いた。夜空にある天の川の美しさに多くの人が魅了される。気候の変動が起こらないことを祈りたい。(朝日祥二 国立言語研究所准教授)

記者の目

茨城、大阪、群馬の3府県しかない。茨城県には、制度導入を検討する全国の自治体から相談が相次ぐ。

だが、自治体の取り組みであるが故の限界もある。制度がある地域から別の地域に引越すと、同様の制度を持つ地域であったとしても、いったん、効果が失われてしまうことだ。

今年も七夕が終わった。例年この時期になると街角にはさまざまな願いごとが書かれた短冊が飾られ、道ゆく人の気持ちを和ませてくれるその七夕といえは、織姫と彦星が1年に1度会うことが許される天の川である。

それにしても、「天の川」が冠水するかもしれないというのは、少し驚いた。夜空にある天の川の美しさに多くの人が魅了される。気候の変動が起こらないことを祈りたい。(朝日祥二 国立言語研究所准教授)

つくば市も対応

県の制度導入以降、つくば市でも関連した取り組みが進んでいる。今年2月には市役所の全組織を対象に、性別欄を削除または「無回答」など選択肢を追加した書類がどの

県は性的少数者の大学生の学生生活や就職活動を支援するため、県内の大学と「連絡協議会(仮称)」を設立する予定で、5月に筑波大に協力を依頼した。筑波

大タイパシティ・アクセスシティ・キャリアアセントの河野稔之助教(人間系)は「県内の大学同士が連携する機会は今まで少なかった。連絡協議会の活動内容が明確になり次第、対応を検討する」と話した。

それにしても、「天の川」が冠水するかもしれないというのは、少し驚いた。夜空にある天の川の美しさに多くの人が魅了される。気候の変動が起こらないことを祈りたい。(朝日祥二 国立言語研究所准教授)



千葉さん(左)と吉目木さん=吉目木さん提供

5月に宣誓した吉目木舞さんと千葉千由希さんは、昨年8月に宮城から県央地域に引越してきた。転居した理由の一つが、都道府県規模のパートナーシップ制度

制度利用で茨城に転入 「育児や介護など長期的な支援も」

を最初に導入していたことだ。吉目木さんは宮城県に住んでいた際、職場で大けがをし、一年半で7回手術を受けた。千葉さんは手術や入院に付き添ったが、パートナーだと病院に説明しづらかったと偽った。この経験から2人は、性的少数者のカップルに理解がある医療機関が地域に存在する重要性を感したという。吉目木さんは県の制度に関して「想像以上に民間サービスの対応が充実していた。今後は育児や介護など長期的な視点に立った支援にも力を入れてほしい」と話した。



支援を受ける学生たち(6月27日、平砂学生宿舎共用棟で) =寺尾優汰撮影

つくばPEACEは昨年末から月に1回、松見公園(つくば市久保)で、経済的に困窮する学生らに食料品などを提供してきた。筑波大での配布は今回が初めて。夏場を迎え、屋外では食品が傷んだり熱中症が起きたりする恐れがあるため、屋内での実施を決めた。要請を受けた筑波大は、新型コロナウイルス対策のため、学外からの入構者はPEACE関係者に限り、

当日は茨城農産物産直全国連合会・産直ネットワークや個人から寄せられた野菜類やレトルト食品、歯ブラシや生理用品など1500人が用意された。事前にネットで申し込みを受け付けたところ、開始から約20分で満員になったという。学生ボランティアの佐藤航輝さん(物理4年)は「経済的に困窮する学生が多いこの現れで、事態は深刻だ」と話した。また、代表の富山香織さんは「コロナ禍でアルバイトが減った学生も多い。支援を継続するため、少しでも多くの寄付をお願いしたい」と語った。PEACEへの支援は現金振り込みや物資の提供のほか、インターネット通販の「アマゾン」を利用し、同グループが作成した「ほしいものリ

つくばPEACE 学内で初支援

食料品配布 筑波大も3回目

コロナ禍で困窮する学生たちを支援しようと、市民団体「学生応援プロジェクト@つくばPEACE」が6月27日、平砂学生宿舎共用棟で食料品や日用品を学生約130人に無料配布した。また、5月22日には、筑波大の食料支援も同共用棟で行われた。今回が3回目、対象を学群と大学院の新生に絞った。学生約600人が支援を受けた。(島崎翔二 医学類4年、寺尾優汰、12面に関連写真)

つくばPEACEは昨年末から月に1回、松見公園(つくば市久保)で、経済的に困窮する学生らに食料品などを提供してきた。筑波大での配布は今回が初めて。夏場を迎え、屋外では食品が傷んだり熱中症が起きたりする恐れがあるため、屋内での実施を決めた。要請を受けた筑波大は、新型コロナウイルス対策のため、学外からの入構者はPEACE関係者に限り、

当日は茨城農産物産直全国連合会・産直ネットワークや個人から寄せられた野菜類やレトルト食品、歯ブラシや生理用品など1500人が用意された。事前にネットで申し込みを受け付けたところ、開始から約20分で満員になったという。学生ボランティアの佐藤航輝さん(物理4年)は「経済的に困窮する学生が多いこの現れで、事態は深刻だ」と話した。また、代表の富山香織さんは「コロナ禍でアルバイトが減った学生も多い。支援を継続するため、少しでも多くの寄付をお願いしたい」と語った。PEACEへの支援は現金振り込みや物資の提供のほか、インターネット通販の「アマゾン」を利用し、同グループが作成した「ほしいものリ

なく職員にも広まりつつあるようだ。学生生活課が運営する「学生生活関係HP」に、学生の要望に回答する形で「天の川」が登場する。これによると、「天の川」は降水時の排水に利用されるもので、豪雨になると冠水する可能性があるという。補修工事の名称に「天の川」が使われたこともあるという。「天の川」を使う職員もいるようなので、広く知られた語ということと間違いない。

コロナ禍で値上げ迫られ

キャンパス内の飲食店 売上減や小麦・油の価格上昇が影響

筑波大学キャンパス内で飲食や喫茶などを運営する7事業者の昨年度の売上高が、前年度比で約4〜7割落ち込んだことが学生生活課への取材で分かった。コロナ禍で利用者が減ったことが影響した。対面授業が増えた今年度も状況は変わっていないという。大学会館のレストラン「筑波」は4月、パン販売の鈴家は7月に一部メニューの値上げに踏み切った。同課の担当者は「企業努力だけでは限界に近く、値上げもやむを得ないという事業者が多い」と話す。筑波大生は今後、手ごねな価格で食事を楽しむことができるのか。事業者や同課に取材した。

(大橋翔和・比較文化学類1年、北川瑠菜・同3年、及川千翔)

値上げ後も赤字続く

筑波大は4月に日替わりランチの価格(税込み)を680円から700円に値上げした。昨年度以降は売上高が例年の7割減と高の約7割を占めていた。しかし、昨年2月からは宴会が全くない状況が続く。川島店長は「宴会の売り上げがあったコロナ禍以前は、原価ギリギリでランチを提供していた。20円値上げしても経営が厳しいことに変わりはしない。安価なメニューに一新する案も出たが、常連客のためにも変えたくなかった」と話す。筑波大では例年、宴会の料理や会場の提供を年150回ほど実施し、売上高の約7割を占めていた。新型コロナウイルスの感染が心配な客にも気軽に利用し



筑波大のラーメン(7月14日、本紙編集) デミのテークアウト(7月14日、本紙編集) ランチ(7月14日、本紙編集) 室(7月14日、本紙編集)

新メニュー開発に活路

パン販売の鈴家は7月、約40種類のパンのうち13種類を10〜20円値上げした。油や小麦、卵の値上がりのため、鈴木三社長は「利用客の負担になるので、できればしたくなかったが、材料費が上がると値上げせざるを得ない」と話す。鈴家は昨年度の売上高が前年度比で約5割減だった。川島店長は「一机やドーナツを定期的に消費し、スーパードライの30分毎に交換するなど感染対策を徹底している。安心して利用してほしい。昨年11月に配布された食事補助券のおかげで、12月は売上が約7割減から約5割減に回復した。今年も可能であれば実施してほしい」と話す。

金銭的な支援難しい

キャンパス内の食堂や喫茶は筑波大生にとって不可欠な存在だ。第1学群食堂をよく利用する応用理工学位プログラムの前期1年の大学院生は「栄養バランスの取れた定食を安く食べられるのはありがたい」と話す。学内に食堂があることによる利便性も重要だ。社会学類3年の学生は「対面授業の再開に気軽に安く食事ができる」と語る。

古本回収ボックス増設

「大学への寄付増やしたい」

筑波大は6月、古本回収ボックスを新たに人文社会学系棟2階玄関ホールや生物・農林学系棟C棟エントランスなど学内4カ所に設置した。回収した古本などの売却益を筑波大学基金に寄付する「PURUESHIP with BOOK DONATION」事業の一環で、筑波キャンパス内の古本回収ボックス設置は14カ所になった。基金は、教育研究の支援や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生への緊急支援などに役立てられている。



新設された古本回収ボックス(6月23日、人文社会学系棟)

伴う学生への緊急支援などに役立てられている。事業開発推進室によると、既存の回収ボックスでは教員からと思われる寄付が多かった。このため今回の新設では、教員の目に留まりやすいと考えられる場所を選び、事業の認知度を高める効果を狙った。同事業では読み終わった書籍のほか、CDやDVD、ゲームソフトを回収し、提携業者に買い取りを依頼している。筑波大学基金のウェブページを通じ、寄付したい書籍やDVDなどを自宅から提携業者に直接送ることもできる。5冊(点)以上なら送料は無料だ。11年度の事業開始から20年度までに20万点を超える寄付が集まり、近年では毎年50万円ほどが基金に寄付されてきた。

注意したいのは、業者が扱う書籍は国際標準図書番号(ISBN)付きのものに限ることだ。2010年以前の出版物も値が付かないことが多い。

同室の担当者は「金銭での寄付に抵抗がある人も、不用品の提供なら受け入れやすい。より多くの人に大学のつながりを意識してもらおうと、寄付を増やしたい」と語った。

(寺尾優汰 写真)

筑波大生 雨中の筑波山頂で一夜

「調べ不足だった」

5月22日夜から23日朝にかけて、筑波大の学群1年生2人が筑波山から下山できなくなり、警察と消防が出動する騒ぎがあった。2人は山頂で一夜を明かし、翌朝ケーブルカーで無事下山した。学生は「多くの人に迷惑と心配をかけて申し訳ない」と話している。

山頂で宿泊するつもりだったが、登ってみると宿泊施設はなかった。

泊施設はなかった。

登山開始から約30分後に雨が始まり、到着後の午後7時過ぎには周囲の景色が見えなくなるほど強くなった。雨が上がったのは翌午前4時ごろだったという。

2人は山頂の公衆トイレで「晩過ぎることを決め、自分たちの安全を友人らに知らせよう」と、あかりのある場所で休憩を始めて、翌午前4時ごろ下山した。

いまず」などとツイッターに投稿した。

学生2人は本紙の取材に「山頂に宿泊施設がないとは想定していなかった。調べ不足だった。反省している」と振り返った。

つばは署の田谷光寿副署長は「きちんと下調べをして登山してほしい。また、万が一に備えて携帯電話は十分に充電した状態で持っていく。何かあった時には消防にすぐ通報してほしい」と話した。(及川千翔)



研究学園都市の某博士は、秘密裏にアンドロイド開発を進めていた。だが、開発した姉妹のアンドロイドが逃走し、新たにアンドロイドを作った人間を襲っていた。姉妹を連れ戻すため、博士は最新鋭の試作品「アンドロイド」ツクバダイン」を起動した……。

ヒーローアクション同好会

ヒーローアクション同好会は、こんな設定で、オリジナルヒーロー「研究学園戦士ツクバダイン」が活躍するショーを運営する。会員は



ポーズを決めるツクバダイン=同会提供

造形班はショーで使う武器の製作に取りかかった。「コロナの終息後、いつも通りのショーを観客に届けたい」。メンバーは「剣を振る姿がカッコイイ」と話している。

「いつも通りのステージ」届けたい

「剣をお客さんに初披露できる日が楽しみです。仕方がない」と、造形班を兼ねる榎原さん。

アクター班では週に2日、筑波大の武道場でおもちの剣による素振りや殺陣の稽古を行う。

素振りでは、相手役のアクターに剣を当てない剣の振り方を何度も反復して身体に覚えさせる。殺陣の稽古では、正面から見て本当に戦っているように見せるため、斬りかかる角度や立ち位置を入念に確認する。位置や角度がずれると、武器が当たってしまうことが分かかってしまっただけだ。

アクターの北沢修さん(社会学3年)は「キャラクターの性格をしっかり把握することは、そのキャラらしい仕草や動きをする上で大切な。遠く

にいる観客にも分かるように、大きく緩急をつけた動きを意識している」と話す。過去のショーの音声に合わせて練習するなど、日々演技力の向上を目指しているという。

現在は、今年11月に実施予定の雙峰祭に向けて準備を進めている。

榎原さんは「対面でのショーをする時は飛沫防止のため歓声は避けてもらい、ペンライトや拍手で応援してもらうことを考えている。練習を欠かさず、観客にいつも通りの最高のステージを届けたい」と意気込む。

一年半近く「出陣」できていないツクバダイン。その雄姿を見られる日が待ち遠しい。(工藤和哉・生物資源学類2年)

広告掲載欄

(紙面のみでの掲載となります)

広告のお問い合わせは
電話 029 - 853 - 6699
Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp
(筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも上記までお願いいたします)

Who's Who?

赤色光によるカイコの成長促進を発見

市川 尚人 さん (資源2年)



カイコの研究を10年以上続ける市川さん(6月25日、2C棟前で)

「カイコほど魅力的な生き物はない。絹糸の他、さまざまな分野への応用が期待されている。清潔で、飼育もしやすい」

小学1年でカイコ研究の虜になった。2019年には、赤色光を当てるとカイコの成長が促進するとの研究で「第9回高校生バイオサミット」(山形県など主催)の慶應義塾賞を受賞した。現在は坂本和一准教授(生

環系)の助言を受けながら、赤色光による成長促進を更に詳しく調べている。つば市出身。市内の科学館でカイコをもらった2人の兄たちが繭色の遺伝に関する研究を始めた。自身も5歳頃から飼育を手伝い始め、7歳で兄たちの研究に参加した。以来、直射日光を避けるため暗くした自宅の廊下などで年間600匹以上を飼っている。

7歳から研究に熱中

「社会で役立つのが楽しみ」

ことを突き止め、日本学生科学賞で優秀賞を受賞した。「光とカイコのテーマに自信が持て、研究を続けていこうと決めた。高等部に進学後は研究部に所属した。文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSHS)に指定されていたため、研究費の支援が受けられた。LEDや人工飼料などを購入し、自宅での研究環境を整えた。赤、青、緑、黄色のLEDでカイコに光を照射し、色の違いがカイコの成長に及ぼす影響を調べた。その結果、桑の葉を食べて育ったカイコは、赤色光を当てると通常30日の幼虫期が1週間ほど短くなった。そのカイコの体温が約1.5度上昇していることも判明した。

赤色光によって桑の葉の消化が促進され、成長も進むことにより、体温が上昇したと考えられた。この研究が慶應義塾賞を受賞することになった。筑波大では、1年時に「先導的研究者体験プログラム」(ARE)に採択され、坂本准教授の指導を受けるようになった。苦労したのはカイコの給餌だ。農薬が散布されていない桑の葉を研究室のカイコに与える必要があり、自宅の桑の木から採取して毎日晩晩に与えた。しかし、授業との調整が上手くできず、餌の量が不足するなどのトラブルが生じ、研究成果は得られなかった。AREは終了したが、現在は坂本准教授とも相談しながら、研究に再挑戦中だ。「筑波大は家から近く、研究に打ち込みやすい。多分野の講義を受講でき、他学生との交流の機会も多い。研究にもってこの環境だ。誰もしていないことを探求し、それが将来、何らかの役に立つ。そう想像することが研究の醍醐味で、この研究もそうなるかもしれない」

若き研究者の卵の視線は、常に前を向いている。工藤和哉(生物資源学類2年、写真も)

茨城初出店「ロピア」に行列



トナリエ・クレオに出店した「ロピア」に列をなす客たち(5月19日、つくば市吾妻で) = 西村大祐撮影

1面へ

五輪へ激励の寄せ書き集まる



壮行会で披露された筑波大関係者への激励の寄せ書き(7月8日、本部棟で) = 大和祐葉撮影

2面へ

吹奏楽団 1年半ぶりの演奏会



本番前、最後の調整をする吹奏楽団員ら(6月12日、ノバホールで) = 車谷郁実撮影

5面へ

食料品配布 PEACE が初の実施



食料品などの無償提供の会場(6月27日、平砂学生宿舎共用棟で) = 寺尾優汰撮影

10面へ

学内総合

学内総合

学芸

学生生活

編集後記

大学1年の弟は、バイトを始めようというフェリスや塾講師、精肉店などに応募するも全て落ちました。7月初め、6回目の面接でようやくメカネ店に採用され、「友人や母親に愚痴を聞いてもらって頑張れた」と話しました。苦しい時に支えとなってくれる存在は大きい、そう感じました。今号ではコロナ禍の就活を特集しました。就職課は学生に情報を伝えなければとコロナ禍の就活の現状を知ってもらおうセミナーなどを開きました。同課の担当者の「困った時はいつでも頼ってほしい」という言葉がとても心強く感じました(6面)▼キャンパス内の食堂や喫茶はコロナ禍の売上減少、油や小麦の値上げから価格を上げざるを得ない状況が続いています。事業者は「苦しい状況でも常連さんがおいしうに食べるのを見たと頑張れる」と話していました(11面)▼新型コロナウイルスの終息が見えない状況がまたも続いています。だからこそ、互いに支え合うことが重要で

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会
委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会学
副委員長 関瑞穂(学生部長) 委員 逸村裕(図書館情報メディア系・教授) 図書館情報学、清水論(体育系・教授) スポーツ社会学、菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学

筑波大学新聞編集部
編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授) サイエンスコミュニケーション
編集長 大和祐葉(障害科学類3年) 副編集長 北川瑠菜(比較文化学類3年) ほか編集部員25人

次号は
10月1日(金)
発行予定です

発行所 筑波大学
印刷 ヒラマ写真製版